

## 事業活動報告

### 「久留里子ども樹木博士」

樹木医 小池英憲

**開催日** 平成 21 年 7 月 26 日 (日) 晴れ  
9:00 ~ 15:00 頃

**場 所** 君津市森林体験センターとその  
周辺

**参加者** 合計 40 名 (子ども 11 名、付き添  
い 10 名、スタッフ 19 名)

**主 催** 日本樹木医会千葉県支部、千葉県  
森林インストラクター会、NPO  
法人樹の生命を守る会

**後 援** 林野庁千葉森林管理事務所、君津  
市教育委員会、ちば里山クラフト  
研究会

#### 開催内容

夏休みに入り最初の日曜日に、8 回目の子  
ども樹木博士を開催し無事終了した。

参加者は、小学校 2 ~ 6 年生で低学年が多  
く、地元子ども達と遠方の我孫子市や市川  
市からの参加もあった。午前 1 組、午後 1 組  
の出発でそれぞれに父兄関係者が 10 名程度  
付き添う楽しい会となった。今回、千葉県緑  
化推進委員会の重田様が本事業の運営を見学  
に参加されたので、今後の一連の活動の発展  
に繋がると期待している。



(写真 1 . 樹木説明)

成績は高学年ほど回答率が良い結果となっ

ているがバラツキもあり、個人の樹木に対す  
る興味の違いが大きいと思われる。

毎年、クリの回答率が良く、ヒサカキ・ケ  
ヤキの回答率が悪い傾向は同じである。しか  
し、今回はゆっくり説明した効果か全体的に  
回答率は向上している。特にカクレミノの回  
答率が 91% (例年 30%以下) と急に上がったのは、説明者が絵を使うなどの工夫 (写真  
1) の成果と思われる。回答率が悪いとあきら  
めずに工夫することで子供たちに理解して  
もらえる事が分った事は、大きな成果であっ  
た。

最後に竹内実行委員長から、草笛の演奏を  
バックに認定書が渡されたが (写真 2) 、その  
時の子ども達の笑顔は毎回スタッフの心を癒  
してくれる素晴らしい瞬間である。認定書授  
与後、子ども達は最も楽しい小枝のクラフト  
や火起こし体験を、時間を忘れて行った。

本事業終了後の反省会では、案内スタッ  
フの役割に関する厳しい意見が先輩から出た。  
これは、参加者が少ない事などが原因で、曖  
昧に流れがちな気持ちを引き締める有難い意  
見であった。本事業は、フォーマルなスタイル  
を崩さない方針でこれまで行って来たので、  
今後も気を引き締めて取り組みたい。最後に  
NPO 法人樹の生命を守る会中村理事長から、  
今後も続けて行きたいとの言葉があった。



(写真 2 . 認定書授与式)